

有限会社 ワダックス

## 2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 5月～2024年 4月)



発行日： 2024年7月10日

## I.ごあいさつ

有限会社ワダックスは、2005年の設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

### 環境経営方針

当社は、土木工事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。また環境経営システムの継続的改善に努めます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。  
(電力、ガソリン、軽油、灯油)
3. 事務所での廃棄物の削減を推進します。
4. 産業廃棄物の削減を推進します。
5. 総排水量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した施工技術の開発と客先への提案を推進します。
7. 地域の美化活動に積極的に参画いたします。

本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2016年4月1日

改定日：2021年7月1日

代表取締役社長 和田 実

## II.組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

有限会社ワダックス

代表取締役社長 和田 実

### (2) 所在地

本社・資材置き場 〒679-4115 兵庫県たつの市神岡町入野4-4-7-4

### (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責任者 工事部 和田 護 TEL:0791-62-1087

担当者 工事部 和田 護 TEL:0791-62-1087

E-Mail:wadax.mamoru@gmail.com

### (4) 事業内容

総合建設業（土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、管工事業、造園工事業）

許可番号 兵庫県（特-27）第502962号 許可年月日 令和元年9月25日

許可期限 令和6年9月24日

測量業

許可番号 国土交通大臣 第（1）36033号 許可年月日 令和2年2月14日

### (5) 事業の規模

設立 2005年

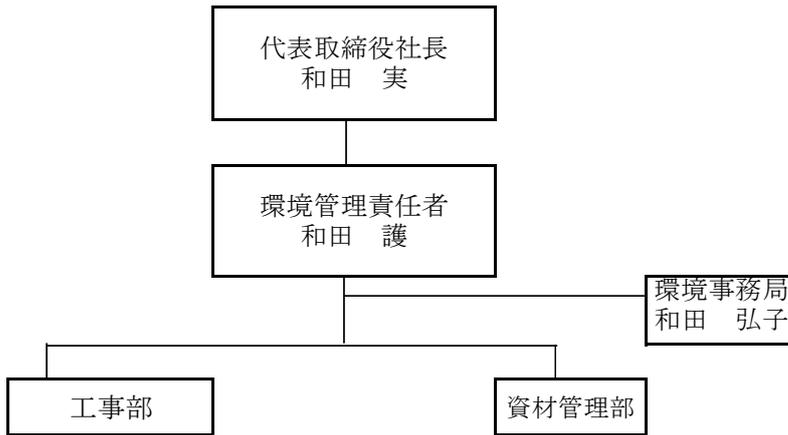
資本金 2000万円

売上高 1億760万円（令和5年度実績）

各事業所の規模

	本社	資材置き場	合計
従業員	5名	無人	5名
延べ床面積	50㎡	150㎡	200㎡

(6) 組織



代表者(社長)	<b>役割・責任・権限</b> ・環境経営に関する統括責任 ・経営の課題とチャンス <sup>の</sup> 整理、明確化 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営方針・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境監査役	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(7) 事業年度

5月～翌年4月

### Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 有限会社ワダックス  
 対象事業所： 本社・資材置き場  
 対象外： 無し  
 活動： 総合建設業（土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、管工事業、造園工事業）  
 測量業

### Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	27,452	39,953	45,184		
電力使用量	kWh	2,121	2,432	2,305		
ガソリン使用量	L	917	1,266	1,237		
軽油使用量	L	9,422	13,894	16,017		
灯油使用量	L	108	126	72		
廃棄物排出量			#REF!			
一般廃棄物	kg	368	365	277		
産業廃棄物	t	27	103	25		
水道水使用量	m <sup>3</sup>	21	20	19		
化学物質	kg					

### Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

#### (1) 中期目標

項目		年度	2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
Ⅰ. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>		27,452	27,177	26,903	26,628	26,354
	対基準			△ 1%	△ 2%	△ 3%	△ 4%
電力使用量削減	kWh		2,121	2,100	2,079	2,057	2,036
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		747	739	732	724	717
ガソリン 使用量削減	L		917	908	899	889	880
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		2,127	2,106	2,085	2,064	2,042
軽油 使用量削減	L		9,422	9,328	9,234	9,139	9,045
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		24,309	24,066	23,823	23,579	23,336
灯油 使用量削減	L		108	107	106	105	104
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		269	266	264	261	258
Ⅱ. 廃棄物排出量削減							
1) 一般廃棄物 削減	kg		368	364	361	357	353
	対基準			△ 1%	△ 2%	△ 3%	△ 4%
2) 産業廃棄物 削減	t		27	119	118	116	115
	対基準			△ 1%	△ 2%	△ 3%	△ 4%
Ⅲ. 建設リサイクル率 の向上		%	100	100	100	100	100
Ⅳ. 水使用量 削減		m <sup>3</sup> 対基準	21	21	21	20	20
Ⅴ. 化学物質使用量 削減		kg					
Ⅵ. 環境に配慮した 施工の推進		件 対基準	7	8	9	10	11

注) 電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力(株) 2018年度調整後係数 0.352kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

(2) 2023年度の実績

項目		年 度	2021年	2023年度における実績			
			基準値	(2023年5月～2024年4月)			
			目標	実績	達成度	評価	
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	27,452	27,177	45,184	60%	×	
			△ 2%				
電力使用量削減	kWh	2,121	2,100	2,305	91%	×	
排出係数 0.352	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	747	739	811			
			△ 2%				
ガソリン 使用量削減	L	917	908	1,237	73%	×	
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	2,127	2,106	2,870			
			△ 2%				
軽油 使用量削減	L	9,422	9,328	16,017	58%	×	
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	24,309	24,066	41,324			
			△ 2%				
灯油 使用量削減	L	108	107	72	149%	○	
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	269	266	179			
			△ 2%				
II. 廃棄物削減							
一般廃棄物 削減	kg 対基準	368	364	277	131.5%	○	
			△ 2%				
産業廃棄物削減	t	27	26.7	25.0	108%	○	
III. 建設リサイクル率の向上							
IV. 水使用量 削減	m <sup>3</sup> 対基準	100	100	100	100%	○	
V. 化学物質使用量 削減	kg 対基準	21	21	19	109%	○	
			△ 2%				
VI. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	7	8	7	—	×	

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

## VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> (目標未達成)		
(下記の通り)	×	(下記の通り)
<b>電力使用量の削減</b> (目標未達成)		
		猛暑の為、エアコン使用量が増えた為未達となった。
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	×	一部でクールビズも導入したが、もっと多くの工夫が必要であったため、次回に向け対策を考える。
・サーキュレーターの設置	◎	頻繁に使用する部屋に設置できた。
・不要照明の消灯	△	事務所での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底する。
・設備の空運転禁止	×	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、今後は、もっとこまめに入・切の操作をする。
<b>ガソリン使用量の削減</b> (目標未達成)		
		発電機等使用が多く未達となった。
・アイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
<b>軽油使用量の削減</b> (目標未達成)		
		重機作業の多い工事物件が多かった為に未達となった。
・重機の空ふかしの禁止	△	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・空気圧、オイル等の点検	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
<b>灯油使用量の削減</b> (目標達成)		
・ファンヒータの使用時期	○	今後周知徹底して行く。
・室温管理 (20℃を基準)	△	もっと省エネ意識を持たせ、ムダな使用を無くして行く。
・部屋開放の禁止	○	大体出来てきた。 次年度も、左記取組を継続する。
<b>一般廃棄物の削減</b> (目標達成)		
・実態調査	△	準備に時間がかかり11月からの運用となる。
・分別の徹底	○	上記と同じ
		今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
<b>産業廃棄物の削減</b> (目標達成)		
・実態調査	○	集計表を作成、
・素材ボックスの設置	○	分別ができ、状態が把握できるようになった。
・保管場所の掲示板を設置	○	設置済みである。
		今後も実態調査を継続しながら、削減に努める。
<b>建設リサイクル率の向上</b> (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	コンクリート殻の割合が多く、リサイクル率が高かった。
・仮設資材の再利用の推進	○	仮設資材を修理することで再利用に努めた。 次年度も、左記取組を継続する。
<b>水使用量の削減</b> (目標達成)		
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。 次年度も、左記取組を継続する。
<b>環境に配慮した施工の推進</b> (実態調査中)		
・工事分野別の技術・ノウハウの収集	△	各種工事分野の環境配慮工法について調査を開始。 引き続き継続する。
・環境配慮施工の推進	○	可能な限り環境に配慮した施工を実施した。 次年度も、左記取組を継続する。

## VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
消防法	(防火対象物) 防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持 (危険物取扱所) 設置許可、技術基準の遵守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存	遵守
たつの市火災予防条例	火災発生の恐れのある機器の取扱基準の遵守、指定数量未満の危険物・可燃物の貯蔵の届出及び技術基準の遵守、	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者（家電販売店）への引き渡し	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。  
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

## VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んで来ました。3Rなどの取り組みは、社内活動として定着して来ているので、今後は二酸化炭素排出量削減等、更なる啓発活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要があります。節電、エコドライブなどの省エネについては、今後より一層努力をして行く必要があります。全体評価としては、前年から改善を進める燃料使用量目標未達となった点を検討し、より環境対策に全社員の意識を高めていきたいと考えております。

環境経営方針	<input type="checkbox"/> 変更の必要有	<input checked="" type="checkbox"/> 変更の必要無
環境経営目標及び環境経営計画	<input type="checkbox"/> 変更の必要有	<input checked="" type="checkbox"/> 変更の必要無
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更の必要有	<input checked="" type="checkbox"/> 変更の必要無

2024年7月10日  
代表取締役 和田 実

# IX. 環境への取組の紹介

